

高崎市における子育て支援に関する研究

教授 岩崎 忠

研究成果

2020年度に、岩崎ゼミ6期生は、群馬県からの依頼があり、群馬県との連携事業「子育て支援を中心としたライフデザイン事業」に参加し、11パターンのライフデザインを提案した。2021年度は、群馬県から基礎的な自治体の子育て支援の取り組みを調査・研究し、より研究を深化されたいとのアドバイスがあったことを踏まえ、高崎市の地域課題研究に参加した。

まず、高崎市の子育て支援の現状について高崎市から説明を受け、研究に取り組んだ。次に、子育て支援に関する基礎的な知識を習得するために、五石敬路氏が執筆された『子ども支援とSDGs』明石書店と、大淵寛氏他が執筆された『少子化の政策学』原書房の2冊の著書の輪読を行った。

その結果、研究の対象を「男性の子育て支援」に絞った上で、先進自治体である横浜市子ども青年局企画調整課にWEB上での調査を行った。横浜市調査では、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む市内企業等を横浜市が認定・表彰する「よこはまグッドバランス賞」の取り組みが紹介され、質疑の中から①経営者の理念表明と推進体制 ②長時間労働の是正と休暇取得 ③多様で柔軟な働き方 ④仕事と育児・介護との両立 ⑤女性活躍の推進 ⑥働きやすく・働きがいのある職場づくりの6つの視点から審査を行っていることが明らかになった。また、横浜市が父親育児支援講座を休日のショッピングモールで予約不要で参加ができる講座を開催したことにより、身近な所で父親の役割、子供・パートナーとの関わり方、地域の子育て情報などの子育てに必要な知識やスキルを学ぶことができ、父親同士の交流が深まり、意見交換できるようになった。これが契機となって、横浜市では、地域版パパスクールの卒業生が主体となって立ちあげ、各区でパパサークルが任意で作られている。

以上のような輪読、横浜市調査を踏まえて、高崎市のSWOT分析を行い、男性の子育て支援策の洗い出しを行った。その結果、①自然の中での父と子のアウトドア教室、②オンラインによる定期的な子育てサポート事業、③アプリケーションを活用した父親への子育て情報提供、④父親の会をつくる、⑤イクメンパパ応援企業アワード、⑥空き家をリノベーションした地域子育てサロン、⑦地域における家族ぐるみ交流の創出、⑧スポーツ施設を活用した父子向けスポーツイベント、⑨幼老複合施設、⑩ダブルケア施設の10の提案を行った。

高崎市への報告会では、経費がそれほどかからない、実現可能性の高い提案であると評価を市からいただいた。